

YIC 利用案内

行政相談 (毎月 第3日曜日)

13:00-16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

令和2年度 相談日 (行政相談)

2020年 5月17日(日) 6月21日(日) 7月19日(日)
8月16日(日) 9月20日(日) 10月18日(日)
11月15日(日) 12月20日(日)
2021年 1月17日(日) 2月21日(日) 3月21日(日)

賛助会員

YICの活動に賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

- ◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり
- ◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいい分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

翻訳

YICに登録するボランティアが、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

- ◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円
- ☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数 (令和1年3月~令和2年2月)

四日市市外国人人口数 (令和2年2月29日現在)

活動実数	ボランティア先生154名	学習者 379名
授業延べ回数	6359回	
学習者地域別	アジア93%、南米4%、北米2%、EU1%	
学習者在留資格別	就労関係71%、家族滞在13% 永・定住8%、配偶者5%、留学1%、 その他2%	
学習者年齢別	10代1%、20代62%、30代28%、 40代6%、50代2%、60代1%	

国籍	人数	割合	国籍	人数	割合
ブラジル	2,393	22.3%	その他	2,879	26.9%
中国	1,590	14.8%	総合計	10,718	3.4%
韓国	1,470	13.7%	市総人口	311,578	
ベトナム	1,464	13.6%			
フィリピン	922	8.6%			
上位合計	7,839	73.1%			

よっかいちこくさいこうりゅう
四日市国際交流センター

Yokkaichi International Center

〒510-8601三重県四日市市諏訪町1-5四日市市役所北館5F

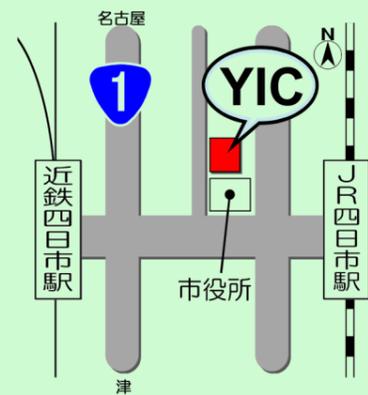
【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00 (月曜日、祝日、年末年始は閉館)



No.67/2020.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center



表紙の一枚

2019年7月31日「YIC子どもフェスティバル」の外国人スタッフのみなさん

Contents

- YIC日本語サークル「私のボランティア活動」「おもしろエピソード」.....p.2
- YIC日本語サークル「学習者紹介」.....p.3
- 令和1年度イベント、外国語講座、ラウンジ展示.....p.4~5
- 2019TRIO(交換学生・教師)四日市市へ.....p.6~7
- 行政相談、生活相談、賛助会員、翻訳など.....p.8



四日市国際交流センターホームページ <https://yokkaichi-shinko.com/yic/>



四日市国際交流センター



YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本人ボランティアと外国人学習者が日本語を勉強する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで勉強しています。

私のボランティア活動



宮坂明美さん (写真: タオさん)

日本・YIC愛に溢れた技能実習生のタオさん。実習期間満了で帰国する最後の授業で、YICの講座室をくまなく写真に収めていた姿は今でも脳裏に焼きついています。「再来日できたら、またYICに通いたい」と言い残し、N2取得を手土産に帰国。帰国後もLINEで交流が続く、日本で台風や地震等のニュースがあると、すぐ連絡をくれますが、必ずYICの様子を聞かれ、再来日したいと言います。今は結婚し父親になったタオさんと、私も日本での再会を願っています。

荒木真佐子さん (写真: ティンさん)



YICで日本語ボランティア活動をして、教わる事の多い日々です。出会う若者達に未来を感じます。世界は広い、みんな同じでみんな違う。そう思います。言葉がわかるだけで周りの景色が違って見える。そんな経験をしてもらいたいです。学習時は、自分が言語を学んだ時と同様に、「言葉を理解し話せるようになりたい」「楽しく継続できる方法は？」という学習者の気持ちを一番に考えます。YICのロビーは、ほっと出来る場所。学習者の笑顔は、私にとって活動の励みになっています。



齋藤正英さん (写真: ティッキーさん)

以前は「会社の上司が厳しくて悩んでいる」「請求書や各種書類がわからないので聞きたい」という学習者に何人も出会いました。最近は日本語能力検定試験の合格を目指す人が急増してきました。YICの日本語サークルだけではN2合格は難しいので、自習することや教室でノートをとることを勧めました。これまでの3年間で4人がN2を合格しました。聞いてみると夕食後2時間ぐらい勉強したそうです。教室では質問を受けたり、会話を40分ぐらい楽しみ、あとは問題集や本の音読に取り組んでいます。良く出来たときは褒めて自信を持ってもらえるように指導しています。

金子尚雄さん

ベトナム人のリュウ君と関わって1年。僕も初めてのボランティア活動で、彼も来たばかり。彼は他の2カ所の日本語教室でテキストを使って勉強しているのでYICでは会話中心。始めたばかりの頃にベトナム人が刺殺された事件や偽造在留カードの事件があったので忠告。年末にはイギリスでコンテナから39人のベトナム人の遺体が見つかる事件があり、出稼ぎ労働について話しました。技能実習生や日本で死んだベトナム人を弔うベトナム女性僧侶の話など、まったくおもしろ話はないが毎時間楽しく時間はアツという間に過ぎます。温泉にも一緒に行きました。先日はストーブの話をしてからポリタンクや給油ポンプを買いに行きました。日本の給油ポンプは教えないと絶対使えません(笑)。

前田恵里さん

日本語能力検定試験N2とN3を目指す多国籍クラスを教えています。みなさんが発する言葉が心に響きます。数年ぶりにベトナムへ帰国していたGさん。帰国の感想は「幸せでした」。家族や友達に会い「楽しい」時間を過ごしたのかと思いきや、久しぶりに病気のお母さんと「幸せな」時間を過ごすことができたとのこと。「幸せな」ということはこの意味を噛みしめた瞬間でした。さまざまな背景で来日し、必死に仕事や勉強に打ち込むみなさんから学ぶことが多い日々です。

おもしろエピソード

料理対決?! 飯田 学さん

12月に開催された「持ち寄りパーティー」での出来事です。私はベトナム人のサン君とお互いの料理を作り参加しました。先着順で机に料理を並べていく訳ですが私とサン君は一緒に会場まで行ったので、料理は隣同士です。そこでサン君が一言つぶやきました。「先生どっちが早く無くなるか勝負ね」と。でもあきらかに私の作った料理は多すぎる。でもそれを言うと大人気ない。パーティーが始まりサン君の料理の所に人が行く度にサン君はこちらを見てニヤニヤして、自分自身負けを意識しているせいかイラッとくるがここは大人になろうと言い聞かせる。でもまたこっちを見てニヤニヤしてくる。我慢我慢の末にサン君の料理がなくなった瞬間大爆笑された。追い討ちに「先生の負けね」と一言!



学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



- ①ロバート
- ②オーストラリア
- ③日本人は真剣な表情をマスターしている。ビジネスでは普通かもしれないが、不愛想に見える。
- ④「めんどくさい」「しょうがない」(周りの人がよく言っている)



- ①マツ
- ②ノルウェー
- ③6回目の日本訪問なのでおどろかなかった。
- ④「木漏れ日」



- ①エンダン
- ②インドネシア
- ③どこでも行きたい場所。電車で行けること。ゴミ捨ての分別がきちんとしていること。
- ④「だいじょうぶですか」(社長によく言われます)



- ①ジュジュン
- ②インドネシア
- ③大事なものをなくしたとき、ほぼ戻ってくる。
- ④「やる気があればできる」



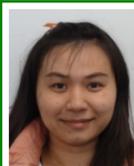
- ①アレック
- ②イギリス
- ③電車やお店、エレベーターの中などで多くの人がお辞儀をすること。
- ④「ふわふわ」(音の響きが好き)



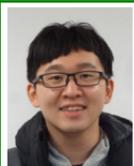
- ①リアンホー
- ②カンボジア
- ③日本人は声が小さい。がんばり屋さんが多い。気持ちを表にださない。
- ④「ありがとう」(やさしい気持ちになる)「がんばって」(力が入る。うれしくなる)



- ①李 成萬
- ②韓国
- ③どこへ行っても町がきれいなこと。
- ④「おはようございます」(朝の挨拶をしたり聞いたりすると、一日が楽しく元気が出ます)



- ①あんちゃん
- ②タイ
- ③街が静かなこと。ゴミの分別が進んでいること。
- ④「おちり(おしりのこと)」(テレビマンガで聞いた。とっても可愛い!)



- ①陳 慶麒
- ②台湾
- ③YICのような外国人が日本語勉強したり、困った時に相談できる場所がある。
- ④「お元気ですか」(元気という単語がパワフルで好き)



- ①林 偉
- ②中国
- ③どこへ行ってもきれいです。人がちゃんと並んで順番を待っている。
- ④「がんばる」(何かあったら使える言葉だから)



- ①ラマ ②ネパール
- ③ゴミを捨てる日や、信号のルールをきちんと守っていることを見て驚きました。
- ④「ありがとう」(ネパールでは感謝の言葉を使わないので聞く新鮮で気持ちがいい)



- ①ランス
- ②フィリピン
- ③天気が大好き、特に冬
- ④「おはよう」(日本語での一般的な毎日の朝の挨拶)



- ①ラケル
- ②フィリピン
- ③ゴミ捨てと交通ルールを守ること
- ④「すみません」(日本で非常に役立ちます。礼儀正しい呼びかけの言葉と謝りの意味をもち、とても便利です)



- ①ダニエラ ②ブラジル
- ③日本に来てトイレの使い方がわからなくて困った。道路にゴミが落ちてなくてとてもきれいです。
- ④「だいじょうぶ」「これ」「はい」(とても便利な言葉だから)



- ①コン ②ベトナム
- ③みんなが生活のルール・交通ルールなどをきちんと守ること
- ④「おたがいさま」(みんなが協力して一緒に何かをするときにこの言葉で相手の気持ちも考えていることが大好きです)



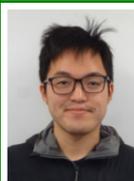
- ①ガー
- ②ベトナム
- ③車は多いが事故が少ない。電車は時間に正確です。
- ④「がんばります」(強くなれます)



- ①ステイシー
- ②カナダ
- ③日本人は細かいことを気にする。几帳面ですね。たとえば英会話の教え方。
- ④「じゅう=G.U」(店の名前!)



- ①メリサ ②ペルー
- ③日本人は交通ルールを守って運転していること。
- ④「すごい!」(仕事や勉強ですごい!と言ってほめてもらうとうれしいです)



- ①アンディ ②アメリカ
- ③「コンビニ」たくさんの品物があり、シャツも買えます!
- ④「やばい」(本当に便利です。おいすぎるなら「やばい」といいます。反対にますます「やばい」といいます。)

令和1年度 イベント

令和1年度は10回のイベントを開催し、たくさんの方に参加していただきました。おもなイベントをピックアップしてご紹介します。令和2年度も、より多くの面白いイベントを計画しております。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。



【コーヒーブレイク】ハワイ 2019年5月26日 参加者53名

YICスタッフでハワイ出身のディオンが、日本のガイドブックに載っていないハワイの穴場スポットを紹介しました。イベント終了後、コーヒーと講師のハワイ土産により参加者との交流を深めました。

(参加者からの感想)

- 何度かオアフ島に行きましたが、知らないところを紹介していただき、また行きたくくなりました。
- 日本とハワイのマクドナルドの飲み物サイズが違うことに驚きました。
- 初めて参加しましたが、ローカルな情報を知ることができてよかった。

【コーヒーブレイク】海星高校留学生 2019年6月15日 参加者39名

市内にある私立・海星高等学校へオーストラリア・ドイツ・イタリアから来た4名の留学生が、自身の母国を紹介していただきました。

(参加者からの感想)

- それぞれのお国柄や人柄がよく出ていて良かったです。
- 今回のような留学生による発表の機会を増やしてほしい。
- 4人の英語力が高く、発音も良いことにビックリしました。



【YIC子どもフェスティバル】 2019年7月31日 参加者211名

当センターの外国語講座の講師や日本語を学習している外国人と子どもたちが、国旗を使ったゲームや各国のあいさつをしながら交流をしました。また、ロングビーチ市からの親善大使TRIOによる絵本の読み聞かせや折り紙を通じて交流を深めました。



【国際理解講座】カナダ料理教室 2019年11月21日 参加者16名

三重県に派遣されている国際交流委員のウー・ロナウドさんを講師に迎え、参加者と一緒に「メープルディジョンチキン」「プーティン」「バタータルト」をつくりました。食事をしながらカナダの歴史や文化をご紹介していただきました。

(参加者からの感想)

- 普段作らない料理だったので、新しい発見がありました。
- 全体的に甘めな感じで、スイーツがとても美味しかったです。



伊藤隆之 トーク&ライブ 2019年11月30日

参加者220名

30年以上フランスを拠点にピアノ演奏やドビュッシーの調査・研究および全曲録音などの活動をされてきた伊藤隆之さんによるトーク&ライブを開催しました。ドビュッシーの代表曲の演奏とドビュッシーに影響を与えた数々の事柄を映像や音源を使い紹介していただきました。

(参加者からの感想)

- 午後のひととき、トークと映像、生のピアノ演奏をありがとうございました。フランスで活躍・勉強された先生のお話が洗練されていて、お洒落な感じがしました。
- 音楽と版画が関係していることに驚きました。プロの演奏を生で聞いたのは、初めてだったので、とてもリッチな気持ちになりました。解説が面白くて愛知県から来てよかったです。



持ち寄りパーティー 2019年12月8日

参加者60名

8カ国60名が集い、色とりどりの料理からデザートまでが所狭しと並びました。料理のレシピや使われている食材などを話題にしながら食事を楽しんでいただきました。食後は、遠州流撫子会の皆さんによるミニ茶会やチームに分かれての日本語を使ったゲームを行い、終日交流を深めていただきました。



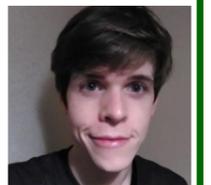
令和2年度 外国語講座

四日市市に住む外国人の母語を学習して交流するために「外国語講座」を三期に分けて開講します。

令和2年度『Topic English』『Weekly English』

担当ウィリアム・ジェイクobs先生

ウィリアムです。アメリカのジョージア州から来ました。色々なことに興味がある英語講師です。日本に来て7年間英語を教えています。四日市の皆さんに英語を教えるのは初めてです。毎日英語を勉強している人も英語に少し興味がある人も、是非講座に来てください。「単語」や「文法」を覚えるだけではなく、本当に理解して英語が使えるようになっていただけるよう頑張ります！Let's try!



YICのラウンジ壁面を利用して、プチ展示会を行いました。「銅板」「折り紙」「書」「樹脂粘土」などの作品を月替わりで展示しました。展示出展者の募集を随時受付しています。どうぞ、お気軽にお問合せください。



樹脂粘土



折り紙



書



銅板



ラウンジ展示

2019TRIO(交換学生・教師)四日市市へ

四日市国際交流センターでは、四日市市からの委託を受け、姉妹都市米国ロングビーチ市との交流事業を行っています。令和1年度は、ロングビーチ市から高校生2名と教師1名(通称「トリオ」)が来日、7月20日(土)から8月7日(水)までの約20日間四日市市に滞在しました。



Adrienne Reyes
エイドリアン レイエス(教師)

私を受け入れていただいた二組のホストファミリーには、たくさんのおもてなしをしていただき、親切にしてくださいました。ホストファミリーは、ベストを尽くして私とコミュニケーションを取り、私を喜んで迎え入れ居心地良くしてくださいました。ホストファミリーデーでは、私が行きたい場所にも連れて行っていただきました。

訪問した高校は、それぞれに特色がありました。日本古来の文化である茶道・華道・書道などに触れる機会を与えていただき、日本の伝統が若い人々に引き継がれていることを感じました。また、四日市の子どもたちと交流する「イングリッシュキャンプ」や「YICこどもフェスティバル」は、とても良い企画だと思いました。私は、子どもたちに折り紙を教えたり絵本の読み聞かせを担当しました。滞在中にお世話になったホストファミリーや関係者を招いての「さよならパーティ」は、高校生通訳ボランティアや四日市TRIOによる手作りのあたたかいものでした。

今回のトリオプログラムは、素晴らしい経験を私に与えていただきました。私のこれからの人生にとって日本でのこの時間は、いつまでも思い出されることになるでしょう。将来、もう一度ホストファミリーの皆さんと会いたいです。ありがとう。



「YICこどもフェスティバル」で絵本の読み聞かせ



Jun Wallech
ジュン ワーリック(学生)

今回、私がトリオプログラムで経験した内容は、本当に素晴らしいものでした。

市内外の施設や高校への訪問とイベントなどが一日置きに組まれていた行程が好きでした。滞在中、私を受け入れていただいた二組のホストファミリーには、大変感謝しています。ホストファミリーは、朝早くから私と行動を共にしていただき、積極的にコミュニケーションをとることであり、私の気持ちを押し量っていただきました。



川越高等学校での書道体験

校風の違う五つの高校を訪問し、クラブ活動への参加を通じて生徒達と交流したことにより、アメリカの高校との比較をすることが出来ました。また、四日市の小学生が世界各国の人々と英語を通じて交流するキャンプにも参加しました。子どもたちは、初めはとても緊張していましたが、活動を通じて新しい友だちを作って仲間づくりの大切さを学んでいるようでした。

京都や伊勢などの日帰り視察は、通訳者が丁寧に説明していただいたことにより有意義に過ごすことができました。出来ることならもう一度行きたいくらいです。また、日本の伝統的な浴衣を着て参加した「大四日市まつり」は、日本の祭り文化に触れることができ、大変感銘を受けました。



Abigail Johnson
アビゲール ジョンソン(学生)

私は、萬古焼体験や交流を通じて四日市の文化が本当に好きになりました。

浴衣を着て出かけた「大四日市まつり」は、色々な太鼓グループの演奏を聴いたり屋台の食べ物に挑戦したりして気持ちが高揚しました。YICで開催された「こどもフェスティバル」にも参加し、子どもたちに折り紙や絵本の読み聞かせをすることにより心を通わせることができました。

日本の代表的な観光地である伊勢・京都・伊賀を視察できたことはとてもラッキーでした。今後のトリオプログラムでも続けていって欲しいと願っています。ひとつ残念だったのは、日本のアミューズメントパークに出かけられなかったことです。1カ所でも行けていたら、日本とアメリカの遊園地の違いを学ぶことができたと思います。

スタッフやホストファミリーは素晴らしく、私達を色々な場所に案内していただきとてもよかったです。また、四日市の高校生通訳ボランティアの人たちにも親切にしてくださいました。皆さんにとっても感謝しています。



「四日市市防災センター」では高さ30mのハンゴ車を体験



滞在中に訪れた視察先を写真にまとめ、四日市市長・議長に報告

Host Family

西村家



主人の中国単身赴任も終わり、海外旅行予定のない夏休み。海外に行くにはお金がかかるので、以前から興味があったトリオのホストファミリーに思い切って応募しました。こどもたちからも応募をせがまれていたものの、一週間以上の滞在に対応できるか、正直、不安はありました。

先生か生徒さんか、性別もこだわらず応募したのですが、我が家に来てくれたのは、私と同年で野球大好き、女性教師のエイドリアン。こどもたちよりも私の方が楽しみにしていたかもしれません。我が家は後半担当だったので家に来たときは疲れもあったと思いますが、こどもたちと一緒にボードゲームをしてくれました。小学校の先生ということもあり、こどもの小学校や習い事、公共の遊び場などを案内しました。日本とアメリカの学校施設や勉強方法の違いなど、色々私も教えてもらいました。海外で子育て経験のない私には非常に興味深いことばかりでした。受け入れ前は、長いのではと心配していた一週間はあっという間に過ぎてしまい、もっと時間があつたらと残念にも思いました。

こどもたちもエイドリアンから影響を受けました。特に娘はお別れ会で同時通訳をさせていただいたこともあり、英語を日本語に通訳するのは意外と難しいと気づいたようです。帰国後も連絡を取り合っていて、こどもたちは数年後に交換留学生としてロングビーチに行って、エイドリアンと愛犬マックに会うのを楽しみにしています。